



# 「池子の森自然公園 ホタル通信」

(2025年7月20日)

編集:池子の森自然公園、ホタルの会

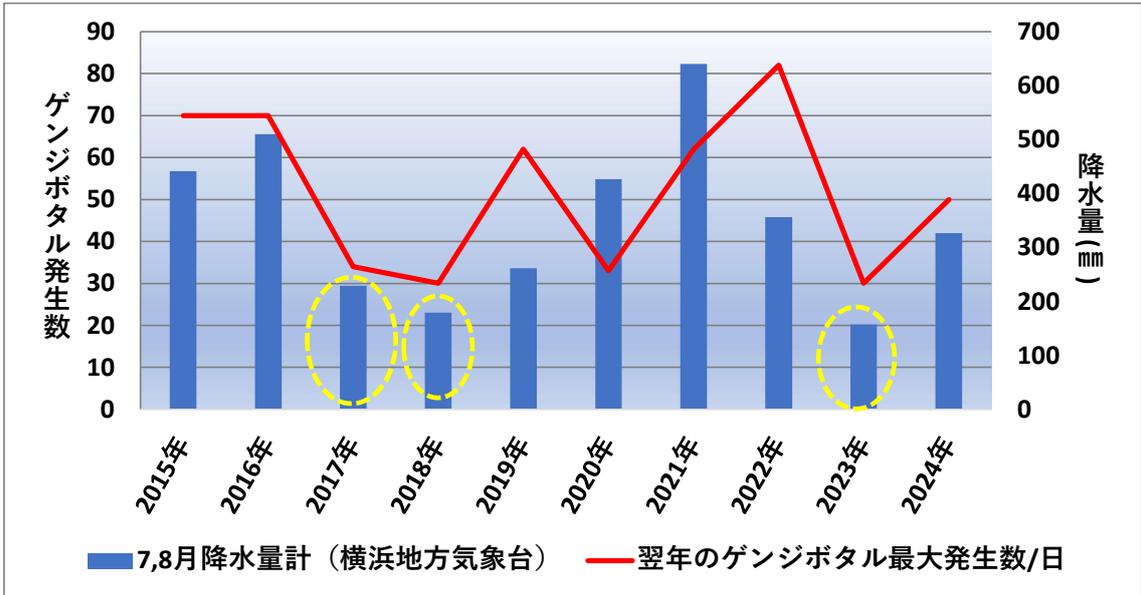
## ▶ ホタルの調査終了

2025年のホタルの調査は3月24日の幼虫調査から着手、7月17日の成虫調査で終了、約4ヶ月のTrialでした。

今期は久木池上流と久木池下流のホタルの発生が順調で、西の谷戸のゲンジボタルも生息環境回復の兆しが見えました。昨年の7月及び8月の降水量が約300mmあって、幼虫の生息環境が維持されたことが今期のホタル発生につながったと考えています(図-1)。一方、西の谷戸③及び東の谷戸では昨年に比べるとホタルの発生数が回復しましたが、2022年・2023年の発生状況にはほど遠い感じでした。背後流域が狭いために、2023年夏季の寡雨のダメージから生息環境が回復するには時間がかかりそうです。



写真-1 2025年、ホタル調査事例



注 1) 降水量が250mm以下の場合、翌年の発生数は少なくなっています。  
 注 2) 2020年3月に飼育したゲンジボタル幼虫62個体を放流しており、2020年の発生数に影響を及ぼした可能性があります。  
 注 3) 2021年の発生数は、2019年秋季の大出水の影響(河床の荒廃等)が残っていたと思われます。

図-1 7,8月の降水量とゲンジボタル発生数(久木池下流①)